

**SNA推計手法解説書**  
**(平成19年改訂版)**

平成19年10月

内閣府経済社会総合研究所

利用者の皆様へ

本書は平成19年10月時点での推計手法の解説であり、今後、記載内容等の変更があり得ますが、国民経済計算のユーザーの利便性に配慮し、今般公表いたしました。

本書についてのお問い合わせは、内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部企画調査課あてご連絡下さい。

電話番号

03-3581-0631 (ダイヤルイン)

## 93SNA 推計手法解説書の改訂に際して

内閣府経済社会総合研究所は、国際連合によって勧告された『1993年改訂 国民経済計算の体系（93SNA）』に準拠して、国民経済計算の作成・公表を行っている。そうして作成された情報は、我が国の経済動向分析、政策の検討・立案、各種の調査研究のための基礎資料として幅広くご利用いただいている。

本書の初版は、平成12年に我が国が93SNAに移行した際に、推計方法及び基礎統計を利用者に紹介する目的から作成したものである。今回の改訂では、その後の推計手法の変更などを反映させるなど、内容の見直しを行ったものである。

なお初版では、年次推計に重点を置きつつ速報推計についても言及してきたが、初版作成後に専ら速報の推計方法を扱った「四半期別GDP速報（QE）の推計方法」も公表し、さらには93SNA導入に関して詳説した「我が国の93SNAへの移行について（暫定版）」も公表したことも鑑み、今回の改訂では特に年次推計に焦点を当てて推計方法を紹介することとした。

現在『国民経済計算』は53SNA、68SNA、93SNAを経て、SNA.Rev1への移行が予定されている。このようなSNA体系の変更に伴い、個別の勘定の表象や記録する概念の変更が予想されており、推計方法もより緻密なものへと進化し続けていくことが見込まれる。また『国民経済計算』は、本年の統計法改正によって基幹統計と位置付けられ、より一層重要な役割が期待されている。

こうした状況を踏まえれば、『国民経済計算』の概念や推計方法について一層周知に努めるとともに、『国民経済計算』を利用される方々との対話の充実が求められていると認識している。本書の内容はもとより、『国民経済計算』の作成全般に関して、利用者の皆様から忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いである。

今後も利用者の皆様にお使い頂きやすいように、随時本書を充実させるべく引き続き努力して参りたい。

平成19年10月

内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部長

大脇 広樹

# 目 次

改訂に際して

第1章 SNA推計の体系	1
1. 年次推計の体系	1
2. QE推計の体系	5
3. 改定の流れ	6
第2章 コモディティ・フロー法	9
1. コモ法の概要	9
2. 配分比率、運賃率、マージン率の推計	12
3. 商品別出荷額の推計	15
4. 在庫増加額の推計	20
5. 消費税の取扱い	23
第3章 付加価値法	25
1. 付加価値法の概要	25
2. V表の作成と産業別産出額の推計	31
3. U表の作成と産業別中間投入額の推計	32
4. 産業別国内総生産及び構成項目の推計	43
第4章 一般政府および 対家計民間非営利団体関連項目の推計	47
1. 一般政府および政府サービス生産者関連項目の推計	47
2. 対家計民間非営利団体および 対家計民間非営利サービス生産者関連項目の推計	56
第5章 海外勘定の推計	61
1. 基本的な考え方	61
2. 推計方法	61
第6章 国内総生産（支出側）の推計	65
1. 民間最終消費支出	65
2. 政府最終消費支出	66
3. 国内総固定資本形成	68

4. 在庫品増加 .....	73
5. 財貨・サービスの輸出入 .....	75
<b>第7章 デフレーターと実質化 .....</b>	<b>77</b>
1. 実質化の意味とデフレーター作成の基本的考え方 .....	77
2. 実質化のための基本的価格指数の作成 .....	79
3. 国内総生産（支出側）デフレーターと実質値 .....	83
4. 国内総生産（生産側）デフレーターと実質値 .....	88
<b>第8章 所得支出勘定の推計 .....</b>	<b>93</b>
1. 所得支出勘定の流れ .....	93
2. 所得の発生勘定／第1次所得の配分勘定の推計 .....	95
3. 所得の第2次分配勘定の推計 .....	105
4. 現物所得の再分配勘定の推計 .....	109
5. 所得の使用勘定 .....	109
<b>第9章 資本調達勘定の推計 .....</b>	<b>111</b>
1. 実物取引 .....	111
2. 金融取引 .....	116
3. 純借入／純貸出と純借入／純貸出（資金過不足） .....	126
<b>第10章 貸借対照表勘定及び調整勘定の推計 .....</b>	<b>127</b>
1. 評価の原則 .....	127
2. 各項目の推計方法 .....	127
3. 調整勘定 .....	141
4. 参考 .....	144
<b>第11章 その他参考表等の推計方法 .....</b>	<b>147</b>
1. 経済活動別就業者数・雇用者数・労働時間 .....	147
2. 実質所得 .....	147
<b>&lt;巻末&gt;</b>	
付 表 .....	149